


取り扱い樹種一覧

Tree species List

は受注生産品です。



タモ

モクセイ科の広葉樹。木目が明瞭で、和、洋問わず使い勝手の良い高級材です。



ゴム

トウダイグサ科の広葉樹。天然ゴムの原料となる樹液採取後、集成材となります。



ラジアータパイン

マツ科の針葉樹。節なしなので伸びやかな木目が美しく、節ありの製品に比べて加工も容易です。年輪層が広いのが特徴。



ナラ

ブナ科の落葉広葉樹。硬く重量があり、重厚感のある高級材で、幅広い用途で人気不衰えません。独特の虎班を持ちます。



赤タモ

ニレ科の落葉広葉樹。別名「ニレ」。木目はまっすぐで、目は粗く加工性はあまり良くない。




ヘムロック

マツ科の常緑針葉樹。別名「米榎」。木目ははっきりして、目はやや粗い材。建具などによく使われます。




米松

マツ科の常緑針葉樹。強靱だが加工性はよく、狂いも少ない。構造材、家具、建具などに活用されます。




カバ桜

カバノキ科の落葉広葉樹。肌目が緻密で上品な風合があります。加工性は比較的良好、表面の仕上げも良好。床材などに使用されます。



ブナ

ブナ科の落葉広葉樹。米粒大の斑が現れるのが特徴です。家具や楽器、船舶、曲木、造作材などに活用されます。



ハードメープル

カエデ科の落葉広葉樹。硬いため加工性はあまり良くない。家具、楽器、床材、造作材などに活用されます。

※天然木のため、素材の色に多少の濃淡が出ることがあります。

※樹種によっては、白太が混ざる材があります。また、淡色系の塗装色が出にくいものがあります。



桧上小無地



ヒノキ科の常緑高木。日本古来からの代表的建築用材で耐久性に優れ、加工しやすい特徴の材。



ウォールナット(白太が入ります)



クルミ科の落葉広葉樹。薄褐色から濃褐色の落ち着いた色合いで、木目が美しいので生地仕上げに向きます。



杉上小無地



スギ科の常緑針葉樹。赤身、白太の混ざり合った源平。日本の代表的な針葉樹です。



杉節あり



スギ科の常緑針葉樹。赤身の部分と白太の部分の差が大きく、生き節ありの杉材です。



唐松節あり



マツ科の落葉針葉樹。乾燥後に割れや狂いが生じやすく合板に加工される材。



スプルース



マツ科の常緑針葉樹。軽くて軟らかく、弾力性に長ける。肌目は緻密で加工性に優れ仕上げは良好です。



赤松



マツ科の常緑針葉樹。木質は密で、加工は容易。水湿に強く耐久性に富みます。



チーク



クマツヅラ科の落葉広葉樹。材面はワックス状の物質で覆われ耐久性に優れ、家具や彫刻、床材などに用いられます。



アカシア



マメ科の広葉樹。加工はやや困難ですが腐食や摩耗に強く、乾燥後の収縮が少ないという特徴を持っています。

※アカシアはピッチが異なる場合や、一部表面が白い場合がございます。予めご了承下さい。



メルクシパイン



マツ科の針葉樹。適度な硬さを持ち、加工性も良好。針葉樹ですが、広葉樹を思わせる年輪です。